



3年次進路決定率100%達成!

今年度の卒業生は79名(男子30名・女子49名)で、大学・短大進学希望者7名、専門・各種学校進学希望者30名、民間就職希望者40名、縁故・自己開拓2名という内訳になっています。

今年度も引き続きコロナ禍での就職戦線及び進学受験となりましたが、無事に卒業前に全員の進路が決定しました。

就職については、職種によってはコロナの影響により、若干は求人が減りましたが、大きな影響はなく、県内・管内就職者は、全体の7割を超えました。本校生徒に期待を寄せている地元企業はとて多く、気仙沼・本吉地域の一層の活性化に向けて活躍することと思います。また、進学については、これまでの日々の努力が実り、大学・短大に7名、各種専修学校に30名の進学が決定しました。

いよいよ、卒業まで一ヶ月を切りましたが、有終の美を飾るべく、一日一日を大切に充実した学校生活を送っていきます。



今年度の就職戦線について

～佐々城コーディネーターより～

今年、多くの企業から言われた「こんな響高校の生徒がほしい!」

- ①自分の考えを自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力のある生徒
- ②高校生活を何かで充実させてきた生徒、何かに挑戦してきた生徒
- ③明るく元気で積極的な生徒
悔いの残らない高校生活を!



【進路決定状況】 令和4年1月31日現在

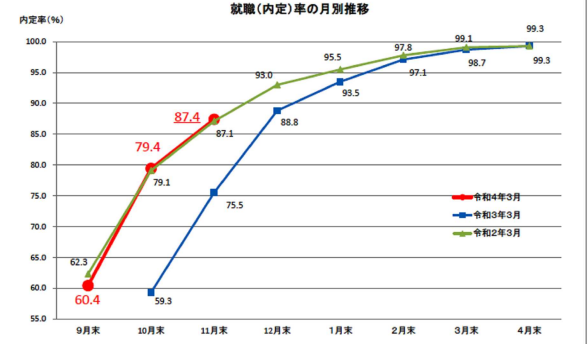
進路	人数	主な進学・就職先
大学	3	東北学院大学・福島学院大学等
短大	4	聖和短大、東北生活文化短大等
専門・各種学校	30	東北職業能力開発大学校、気仙沼高等技術専門学校等
民間就職	40	気仙沼信用金庫、(株)東北フジパン、セコム(株)等
縁故等	2	
合計	79	

【令和4年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について】 高校教育課・宮城労働局HPより

令和4年3月卒業予定者の就職内定状況 ～コロナ禍前に戻りつつあります

令和4年3月高等学校卒業予定者の12月末現在の就職内定率(高校教育課調べ)は、就職希望者3,707人に対し、内定者3,410人の92.0%となり、昨年1月末と比較して1.6ポイント減少しておりますが、新型コロナウイルス感染症が流行する前の令和元年度12月末の内定状況とほぼ変わらない水準となっております。内定者の内訳は、県内2,761人、県外649人、職安・学校紹介2,952人、公務員334人、縁故・自営124人となっております。宮城労働局によると、県内の高卒求人は11月末時点で9,473人、県内就職希望者に対する求人倍率は3.59倍となっております。未内定の皆さんは、保護者の方や進路指導の先生方とよく相談し、内定を得られるまで、引き続き諦めずに取り組んでいきましょう。

※昨年度は新規高卒者の選考・採用内定開始が例年に比べ1か月後ろ倒しになっていることから、内定率については、前年1月との比較になっています。



	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末	4月末
令和4年3月	60.4	79.4	87.4					
令和3年3月		59.3	75.5	88.8	93.5	97.1	98.7	99.3
令和2年3月	62.3	79.1	87.1	93.0	95.5	97.8	99.1	99.3

1年次進路ガイダンスを実施しました

1月26日(水)、1年次を対象にした進路ガイダンスを実施しました。当初は進路別に分かれて対面で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン方式に変更しました。

生徒は校種・業種別に分かれて、各教室にてそれぞれの講師の先生から説明を受けました。

厚労省のデータによると、高校卒業後の就職者については、就職後3年以内に約4割の生徒が離職する現状にあります。早いもので入学してから間もなく一年が経過しようとしていますが、今後も早期の進路目標設定とその実現に向けて様々なキャリア教育を充実していきます。



自己実現に向けて頑張っています



報告「あそびーばー」「子ども食堂」への支援について

今年度、総合的な探究の時間「福祉」では「あそびーばー」と「子ども食堂」を支援する取り組みとして、6月から毎月、校内での募金活動を行ってきました。お陰様で生徒の皆さんや保護者の方々、先生方から沢山の協力をいただくことができました、ありがとうございました。また、ご協力いただいた募金は、響野菜の購入に充てたり、お菓子や食材、おもちゃ等を購入して届けることができました。

また、昨年(2022)の11月からは、衣服の回収等も新たに実施し、沢山の皆さんから協力していただくことができました。その他にも、保護者の方々からの募金や、未使用の生活雑貨、カードゲーム、DVD、野菜等もご支援いただき「あそびーばー」に届けることができました。

御協力ありがとうございました



代表の鈴木さんからは「皆さんからの心温まるご支援に感謝したい」とのお言葉もいただきました。私達の活動がこれまで積極的に展開できたのも、皆さんのお陰だと思っております。本当にありがとうございました。また、この活動は後輩に受け継ぎ、次年度も活動していきますので、更なるご協力をお願い致します。

校内募金で食糧贈る
本報記者 山本 隆之
宮城県本吉町響高等学校(本吉町)の生徒らによる「あそびーばー」支援活動の様子が、8月10日付の「陸新報」に掲載された。同紙によると、同校の生徒らは、毎月校内で募金活動を行い、その収益を「あそびーばー」に寄付している。また、昨年(2022)の11月からは、衣服の回収等も新たに実施し、沢山の皆さんから協力していただくことができました。その他にも、保護者の方々からの募金や、未使用の生活雑貨、カードゲーム、DVD、野菜等もご支援いただき「あそびーばー」に届けることができました。

金融教育研修会を実施しました

12月23日(木)、全校生徒を対象にしてオンラインによる金融教育研修会を開催しました。講師にファイナンシャルプランナーとして活躍する洞口勝人氏から「これだけは知っておきたい～高校生のための金融・経済・投資・運用の話～」と題して講義をいただきました。各国の状況や人口増加と資産運用に至るまで、世界的な視点に立ち、日本の今後の金融経済についても分かりやすく説明していただきました。今後も様々な研修会等の取組により、金融に関する意識の高揚とスキルの向上を図っていきます。



世界経済の仕組みについても学びを深めました

わたしの自然観察路コンクール優秀賞受賞

第38回「わたしの自然観察路コンクール」において、総合理科の生徒11名が優秀賞を受賞しました。このコンクールは、自然を観察できる道を自分で決め、絵地図と説明文で表現するものです。私達は、響高校周辺の豊かな自然を調査し、様々な生物の記録・観察を行いました。調査結果を「様々な生物の関わり」をテーマに、協力しながら絵地図に表現しました。今回、多くの応募があった中から、団体の部で優秀賞に選ばれましたが、絵地図等は公式ホームページに掲載されていますので、是非ご覧ください。



祝 優秀賞

響の自然をMapにしました

人間環境系列でスマート農業を体験しました

12月15日(水)、株式会社五十嵐商会との連携により、本校農場を会場に「スマート農業実演会」を実施しました。近年、ロボット技術やICTの普及により、省力化・効率化が図られ技術革新が進展しています。この日は、農業系列及び工業系列の生徒を対象として、最新鋭のトラクタ及び作業機の研修会と乗車体験も実施することができ、スマート農業について理解を深めることができました。今後も企業連携を強化するとともに、スマート農業の実践に取り組んでいきます。



GPS搭載トラクタ

初の乗車に緊張

無人草刈り機

軽音楽愛好会 武道館ライブを開催しました

12月19日(日)、本校武道館にて軽音楽愛好会が「武道館ライブ」を開催しました。今年もコロナ禍により、発表会等の活動が制限されていましたが、この日は感染対策を講じた中で日頃の練習の成果を披露しました。部員限定の保護者にもお知らせしたところ10名の方々にお越しいただき手拍子をいただくなど部員と共に盛り上がることができました。



今後も「響バンド」を奏でます!

宮城県本吉響高等学校
 校訓 響生・知性・至誠
 〒 988-0341
 宮城県気仙沼市本吉町津谷桜子2-24
 TEL0226-42-2627 Fax0226-42-2628
 キャッチフレーズは "Make harmony"